

校長 eyes (141)

11月21日(木)【いのちを守るこころの健康標語】



尾道市の健康推進課より「いのちを守るこころの健康標語」募集があり、本校からも多くの作品を送らせてもらいました。結果、高校生の部で172もの応募作品のうち、本校から2名が入選しました。中谷夕雅君と村上天音さんです。入賞以上は8名で、その内の2名が本校の生徒ということが大変誇らしく思います。これらの作品は、尾道市役所など市内7か所で来年の3月まで展示されます。以下、その作品とその標語に込めた思いを紹介します。

中谷夕雅君の作品 「無理な時は『無理！』でいい。」

標語に込めた思い…世間体とか人間関係のしがらみとかで言いたいことも自由に言えないことがあります。一つ一つは小さな出来事でも、重なれば心が動けなくなるほど重い鎖のように自分にのしかかってきます。そんな時、はっきりとこう言いたいのです。無理な時は「無理！」でいい。

村上天音さんの作品 「手を挙げて 元気な声で『また明日』」

標語に込めた思い…いつも誰かが温かく見ている。声の調子で分かり合える。友達っていいなって心から思える。

本日の短歌

「負うた子に 浅瀬教えて もらうのは こんな時かと しみじみ思う」